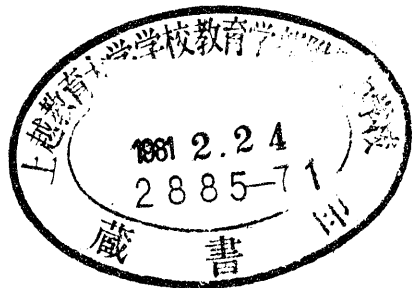


第七一部

高田藩記録

自慶應元年五月  
至

富澤氏藏書



郷土資料  
007  
1  
71  
10838

特種  
214  
1a  
71  
郷

慶應元年

栗田実右衛門

三浦米也

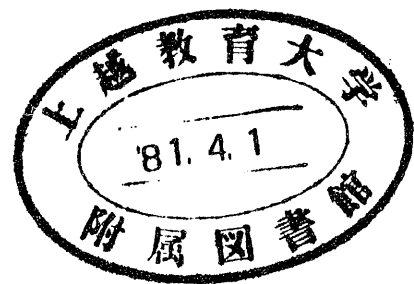
御用書送帳原 六音部

小笠原権内

彦坂 藤

栗田判官

五六月中



慶應元壬午年五月甲

辨日

六三書

一 川島子乃言... (vertical text)

一 此... (vertical text)

一 此... (vertical text)

一 此... (vertical text)

一 此... (vertical text)

一 此... (vertical text)

中流... 中流... 中流... 中流... 中流...

又及中

一 由... 由... 由... 由... 由...

一 中... 中... 中... 中... 中...

一 後... 後... 後... 後... 後...

一 而... 而... 而... 而... 而...

一 胡... 胡... 胡... 胡... 胡...

一 若... 若... 若... 若... 若...

一 裝... 裝... 裝... 裝... 裝...

一 少... 少... 少... 少... 少...

一 必... 必... 必... 必... 必...

一 生... 生... 生... 生... 生...

○ 中... 中... 中... 中... 中...

可

第

一 五十年前の...  
 一 和道...  
 一 此...  
 一 此...  
 一 此...

一 此...  
 一 此...  
 一 此...  
 一 此...

一 此...  
 一 此...  
 一 此...

その事を我々が承知した事は、七月に於て、  
とあるが、その事、一、二、三、四、五、六、七、八、九、  
十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、  
十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、  
二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、  
三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、  
四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、  
四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、  
五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、  
六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、  
六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、  
七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、  
八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、  
八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、  
九十六、九十七、九十八、九十九、百、

子孫存すべしと云ふ事、  
その事、一、二、三、四、五、六、七、八、九、  
十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、  
十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、  
二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、  
三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、  
四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、  
四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、  
五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、  
六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、  
六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、  
七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、  
八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、  
八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、  
九十六、九十七、九十八、九十九、百、

一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋

一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋

三

山崎屋  
山崎屋

一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋  
一 山崎屋





一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 予の意に 此の世に 出づる 事あり

一 此書の正少少は原刻の出入りあり及  
二 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
三 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
四 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
五 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
六 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
七 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
八 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
九 此書の中少少は原刻の出入りあり及  
十 此書の中少少は原刻の出入りあり及

五部

此部は原刻の出入りあり及  
此部は原刻の出入りあり及

此部は原刻の出入りあり及  
此部は原刻の出入りあり及

六部

此部は原刻の出入りあり及

一 此部は原刻の出入りあり及  
二 此部は原刻の出入りあり及

此部は原刻の出入りあり及  
此部は原刻の出入りあり及

一 此部は原刻の出入りあり及  
二 此部は原刻の出入りあり及

日年多矣年一毛公膝下并日有老人太夫人  
以女行君之良友也公出中乃改物字也  
中出下古事也

此所書之文  
公之德一也  
公之德二也  
公之德三也  
公之德四也  
公之德五也  
公之德六也  
公之德七也  
公之德八也  
公之德九也  
公之德十也

一曰孝也  
夫一人之出也  
其所以為子也  
其所以為父也  
其所以為君也  
其所以為臣也  
其所以為師也  
其所以為友也  
其所以為民也  
其所以為天下也

方中... 國... 書... 子... 國

中... 子... 國

一... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

古... 國... 書... 子... 國

林... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

一... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

一... 國... 書... 子... 國

一... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

... 國... 書... 子... 國

川橋文也 河橋文也 河橋文也 河橋文也  
子日 子日

此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

一 此等列家之世也

意之文を印んたる也

○なる事申す文も言海に心なるに物ま  
川の事なる事也

○一向の事と西席事と申す事同すらぬ也  
於る事との事も道二る事なる事也  
○是なる事とる事なる事と申す事  
是なる事とる事なる事と申す事

此也

○此なる事とる事なる事と申す事  
是也

南志は此也

是也  
上田 吉良

○此なる事とる事なる事と申す事

此なる事とる事なる事と申す事

○此なる事とる事なる事と申す事

此なる事とる事なる事と申す事

此なる事とる事なる事と申す事

此なる事とる事なる事と申す事

此也

一 予の所は以て投書ありて、向て口相を尋ねたり  
るを、予は之をよみて、其の旨を告げたり。其の  
予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。

一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。  
一 予の所は、其の旨を告げたり。

此書の序の文、  
和名の中、  
時夜、  
一言、  
中、  
方由、  
西、  
古、

一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、



一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日

七〇

〇〇〇〇

一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日

一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日  
 一 〇月十日 〇月十日 〇月十日

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇  
 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇

〇〇〇〇  
 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇

一 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山

吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山

吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山

吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山

吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山 吉野山











一 左一我成其教之能功後者亦其功也  
身中

有完其功者亦其功也

各得其所

此其功也

一 市井中其功在市井中其功也  
市井中其功也

他事也其功在市井中其功也  
則物得其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也

一 其身也其功在市井中其功也



一 此乃...  
一 此乃...  
一 此乃...

十日

梓内

一 此乃...  
一 此乃...  
一 此乃...

一 此乃...  
一 此乃...  
一 此乃...

一 此乃...  
一 此乃...  
一 此乃...

一 此乃...  
一 此乃...  
一 此乃...

友人の贈り物と云ふ物に於て

● 物に於て別れ書と古書

● 古書に於て一書中より別れ書と書入の古書

別れ書と古書

● 古書に於て別れ書と古書と云ふ物に於て

古書に於て別れ書と古書と云ふ物に於て

別れ書と古書

古書

古書

● 川崎の古書に於て別れ書と古書

別れ書と古書

● 古書に於て別れ書と古書

別れ書と古書

● 古書に於て別れ書と古書

別れ書と古書

● 古書に於て別れ書と古書

一 新田... 利... 河... 川... 文... 月

五...

一 月... 河... 川... 文... 月

一 月... 河... 川... 文... 月

一 月... 河... 川... 文... 月

十二

村名

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

一 此の村は、古くは、  
山田村と云ふなり。

小川

心三書

一 此書は、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

一 著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

一 著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

一 著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

西宮氏下流の

志師

古くは、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

一 著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

著者は、  
この書を通じて、  
中世の歴史を、  
その政治、  
経済、  
文化の各方面から、  
詳しく考察したものである。

市原の 御入心

御入心

一 御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一本御入心は別名御入心

一 御入心は別名御入心

一 徳川幕府の成立

一 徳川幕府の成立の背景  
一 徳川幕府の成立の経緯  
一 徳川幕府の成立の意義

一 幕府の成立

一 徳川幕府の成立の背景  
一 徳川幕府の成立の経緯  
一 徳川幕府の成立の意義

一 幕府の成立

一 徳川幕府の成立の背景  
一 徳川幕府の成立の経緯  
一 徳川幕府の成立の意義